



# 第14号

平成2年1月1日

発行所

坂田郡近江町飯12-3

天の川沿岸土地改良区

☎(0749) 52-0067(代)

## 県営かん排事業 七五・三%

## ほ場整備事業 四地区平均 六〇・八%

## 11工区で事業展開 2年度末 七八・三%へ

元年度末進捗率

当改良区管内の農業基盤整備事業関係進捗率は、平成元年度末現在県営かんがい排水事業で七五・三%、県営ほ場整備事業で四地区平均六〇・八%となります。

### 県営かん排事業

二年度にかけて大型揚水機一台増設を終ると、あと各分水工の水管理集中制御施設、揚水機場内整備及び送水管四kmを残すだけとなり、平成二年度末には八九・三%の進捗になります。昭和五十五年度に着工以来、十年の歳月をかけ二十九億円の事業費をつぎ込んだ大事業は、いまピークを向えています。一日も早い完工を期待しています。

### 県営ほ場整備事業

◇ 西部地区  
五十七年度に着工、すでに

一六七haの面工事を終り、一六億四千万円の事業費をかけ、本年度末の進捗は九六・四%で宇賀野工区では換地処分が終り、あと一部補完工事と、世継、長沢工区の換地処分を残すだけとなりました。

### ◇ 西部南地区

五十八年度着工、一七八haの殆んどの面工事を終り、すでに朝妻筑摩工区では換地処分が済み名実共に所有者が確定し近代農村の新時代が始まりました。

事業費は一四億四千万円を費やし本年度末の進捗は六三・七%ですが二年度末には七〇・七%の予定をしています。

### ◇ 東部地区

六十年度着工、一八〇haの整備へ向けて、いま工事最盛期を迎えています。地区関係者の昼夜にわたる御努力が推進力となり、本年度末五二%

の進捗で二年度末には八一%の見込みとなっています。現在十一億七千万円事業費をつぎ込んでいます。

事業推進の気運にある地区についても皆様の、一日も早い起ち上がり、一挙展開の総力結集を期待したいものです。

### ◇ 東部南地区

六十三年度蒲原地先に於て着工、着々と事業範囲を拡大、全域八八haの着手へ向けて、換地事務担当の役場耕地課を中心に、全工区一体となった努力が続けられています。進捗は元年度末二二・七%ですが、二年度末には一挙に五八・四%、事業費七億二千万円へと急展開の予定です。

上流部番場地先に於ても、これに呼応して事業参加の動きがあり、広域的な取組みが非常に期待され、喜ばしい

限りです。

以上を総体的に見るとき、かん排事業では、ポンプ四台は完成の域にあり、送水管一六・九kmまであと一步と迫り、ほ場整備事業では、全域六一haに対し元年度末四四四ha、二年度末五〇三haの面工事を終る予定であります。換地処分も現在三工区終り、二年度更に三工区、着々と最後の仕上げが進んでいきます。

現在、十一工区で事業を展開中です。後世に対する地域の貴重な財産を形成するため、工区内外の皆様の全面的な御協力を切にお願い申し上げます。午年を文字通り一大飛躍の年にいたしたくよろしくお願ひします。





# 平成二年を迎えて

理事長 粕 測 光 夫

平成になって、新しい年を迎え、組合員の皆様には、健康に恵まれた中で、ご一家賑かに新年を迎えられ、心より賀詞を申しあげ、更にご健康な年であるようにご祈念を申しあげます。

昨年は昭和に終りを告げ、平成と改元され、国の内外は、政治、経済、改革の嵐の中に終始いたし、当改良区も、かん排、基盤整備の二大根幹事業を凝集して円滑なる事業執行を進めてまいりました。次に本年に入りましても、皆さん方の深いご理解とご協力を得まして推し進めてゆきます。一方土地改良は貴重な社会資本であり、これを良好に管理して後世に引継ぐことは、現代の世代に課せられた責務であり、改良区資本が充実増加をいたしますが、安全性、環境保全や、防災上の見地からも運営と管理については、施設の果す社会的役割を評価し、公的度合を強化して、これまでの事業の成果と、これから

の実施事業等、維持管理を通じて、培かれた能力を活用して、地域リーダーの育成、土地、水利用の調整等についても、積極的な役割を果しつつ



▶ 顔戸の西側・役場を望む

つ、更に今後の土地改良事業が、各地域の総合整備の核としての性格の付加価値を高めるよう関係町、農業委員会、

農協等と、連絡、連携を密にし、根幹事業の推進を通じて地域社会の発展に努めるべきであることを銘記いたしてまいります。今年も格段の組合員皆

さん方の叡知を結集いたし、改良区発展のためにご協力下さることを祈念いたし、新年のことばといたします。

合 掌

## 元年度工事費

### 十五億五、五〇〇万円となる

## 新・箕・顔・工区五億五千万円

本年度から県営事業の主力が次第に東部へ移行して、新庄、箕浦、顔戸工区、能登瀬工区、寺倉工区、蒲原工区、などで工事がいま最盛期を向えています。また、換地処分のための確定測量業務を西部、西部南地区で進められています。工事費総額は本年度一億五、五〇〇万円と昨年度と並びぼう大な額となりました。概要は次の通りです。

### ◎揚水設備工事

世継地先、天の川地区揚水機場に大型ポンプ一台を増設し、これで大型二台、小型二台の揚水機が全機完備することになります。(口径七百ミリ、七三〇KW増設)他の揚水機同様電業社機械製作所が



▶ 12月13日  
新ポンプ搬入

納入し十二月中旬から据付け作業に入っています。工事費は一億一八〇万円

### ◎新庄・箕浦・顔戸工区

第二工区一六・七ヘクタールと中央幹線送水管埋設を同時施工で本庄工務店が施工しています。従来の田、道水路の様相を全く一変し、整形され、大型化されたほ場とスッキリした道路、用排水路など近代的な田園風景に生まれ変わります。

送水管工事は、昨年国8パイパス西側で止まっていたものを、今回、国道下を抜き工区内へ入り一旦北へ曲がって又、東進する途中で北幹線と合流します。

第一工区六・五ヘクタール(新幹線の南側、顔戸裏)・送水管北幹線埋設を同時施工でキタガワ建設が施工しています。中央幹線から分岐した水は土川の手前まで管で到達することになります。長沢回りの北幹線がパイパス西でストップしており、これが東進し、一日も早く高溝からのパイプと接続することが待たれています。

第三工区五・〇ヘクタール(北縦の西、双中から新庄北縦沿い)と送水管工事はキタガワ建設が施工、工期三月十

五日で、東南端、県道近くで8号分水工の設置工事も同時に実施されますが、埋蔵文化財調査が慎重に行われているため工事進行が遅れている状況です。

◎多和田工区

換地計画が着々と進んで、本年度下流排水路四〇〇米と地区内道路工事七六〇米を本年度末工期で施工し二年度は、県道北側一〇・六ヘクタールの整備を行います。また、山出から多和田への新しい町道の送水管埋設は滋賀工業により本年度一〇二六米敷設を終り、多和田口へ到達しました。新庄東端から能登瀬ポンプ場までの敷設の早期完成が待たれます。

多和田第一工区工事  
米沢信義建設  
工期 三月十五日

◎能登瀬工区

川森逸雄組

本年度工事は中央部七・九ヘクタールを整備します。長

老墓地川改修に整合させるため一部二年度実施となりますが、現在二月末の工期で次第に新しい姿に生まれ変わりつつあります。先に実施の大上川原に合わせ新しい農道、新しい水路が次第に姿を現わしています。残る一八・九ヘクタールについては二年度実施となっています。本年度工事費四二〇〇万円

◎蒲原工区

中岡組

菜種川から西、東海道路線の北側一〇・一ヘクタールと四〇〇ミリ送水管九〇七米の埋設を二月十五日工期で施工しています。南北に近江農免道路と、東西に幹線道路が交差し一段と交通至便なほ場が生まれつつあります。工費一億三四〇〇万円

◎寺倉工区第一工区

中幸組

(一部蒲原を含む)

菜種川から東、国道二十一号線の北側、北縦までの区域、八・四ヘクタールと送水管七〇〇ミリと枝管四〇〇ミリを合計六二二米埋設を三月十五日工期で中幸組が施工してい

ます。送水管路は、この工区と西隣、蒲原工区の完成により北縦道天の川橋南側から西円寺地先、蒲原西端まで貫通します。北縦道西側で天の川横断の工事と、遅れている日光寺川横断の両工事が二年度に実施されると、新しい用水は中央幹線を通り天の川を渡り寺倉、西円寺と東回りです。上多良でストップしている南幹線と、西円寺まで来た東からのパイプが一日も早く手をつなぎ完全にループ化される日の一日も早いことが待たれます。

◎第二工区

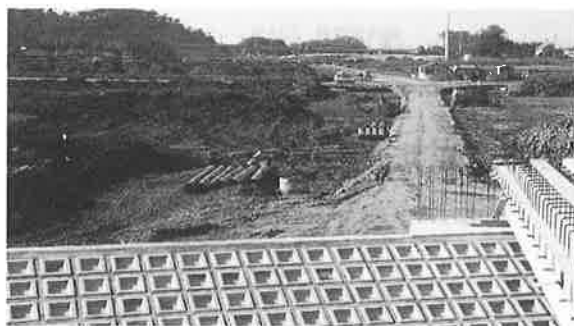
市川工務店

寺倉工区内の東海道路線の地下推進工事は三月十五日工期で市川工務店が担当します。西の路切近くを番場方面へ送水するための管で、四五〇ミリの本管と二〇〇ミリの工区内送水管の二本が埋められます。寺倉工区本年度工事費一億四八〇〇万円

◎高溝・顔戸工区

キタガワ建設

ほ場整備の面工事は昨年終了してはいますが、送水管工事が残っているため三月十五日工期で施工されます。新幹線北側に八号分水工を設置して長沢方面への本管と工区内送水管及び中央公民館の裏を通って舟崎水路まで住宅地内道路に管理設工事を一千六百米施工します。沿線の皆様には何かとご迷惑をおかけしますが、ご協力下さいませようお願いします。(工費八一〇〇万円)



▶菜種川より箕浦橋方面を望む

◎長沢幹線農道舗装  
六五七米 関本貢組  
工期 三月十五日

◎寺倉農道橋新設  
一ヶ所 中原武彦組  
工期 三月十五日

◎西円寺工区

昨年五月組合を設立、兎玉組合長を中心に各委員会毎に審議を続けてきましたが、換地、工事計画等がまとまりよいよ本年から着工夏施工でJRから国道までの一〇・二ヘクタールの整備に取りかかるための予算要求を行っています。

◎地区外となる地権者の皆さんの御協力に感謝します！

どの工区でも隣接地となるほ場整備地区外の地権者の皆さんには、工事騒音や、工事用地の買収、借地、色々の立会いなど種々ご迷惑をおかけしております。各方面にわたりご協力頂き厚くお礼申し上げます。

きれいな水

豊かなふる里

# 63年度一般会計収支決算状況

昭和六十三年度一般会計、特別会計の収支決算がまとまり八月十九日監事会に於て細部監査を受け、財産目録等決算書類、会計帳簿の照合、預金残高照合など業務全般にわたりチェックの結果正当と認められました。

一般会計では、収入八億三〇四四万円、支出八億二〇九九万円、差引九四四万を翌年度へ繰越しました。

収入の主なものでは、本年度より賦課金一部値上げの結果一般及びかん排經常費賦課で四六八二万円、ほ場整備事業費賦課で三二一七万円となり、この徴収率は經常費関係が九九・九九%を上回り、事業費関係が一〇〇%と好成績でした。

補助金は町補助が、三〇〇八万円でその内換地事務補助一〇七四万円、かん排事業一二四三万円その他となっています。借入金は農林漁業金融公庫から三億九三四万円で、ほ場整備事業と

かん排事業の地元負担金として工事費支払いに充当するものです。委託金二〇五六万円は換地処分等委託事務費として土地連から収入したものです。換地清算納入及交付金二億六七五三万円は、宇賀野工区、朝妻筑摩工区の換地清算金一億三三七六万円を県から収入し、次の支出の項で地元へ一旦支払い、同額を再納入を受け(収入)、これを県へ納付する(支出)、という一連の収支関係を表わしたものです。換地仮清算納入交付金一億一〇〇九万円は近江町農協カントリー及び長沢農村公園関係の仮清算金五五〇四万円を農協や町から改良区、県へと納付し直ちに交付されるという一連の収支処理を表わしたものです。

支出関係では、事業費三億三六五万円となり、この内三億一〇五四万円は地元負担金として県へ支払い、二〇五六万円は換地事務費に充当。換地清算、換地仮清算納入及交付金は収入の部で説明の通り会計処理上の整理です。償還金及び利子五一四二万円、これは年々増大していきま

す。事務費二九四一万円、うち人件費は二三三三万円です。維持管理費一九一八万円のうち電力費九七五万円、人件費五二八万円(職員二名分とポンプ管理費)があります。また基幹施設維持管理積立金繰出金九四四万円を特別会計へ繰出しました。諸費一三六六万円は賦課金徴収手数料として各大字の関係者へ支払ったものです。

では、農地転用関係が決済金収入九三二万円、これを繰上償還三三六万円、残りを返済準備積立てしました。基幹施設維持管理積立関係では、今回九四四万円を繰入れ前年度繰越分を合わせ一七五四万円の収入となり、今年度一四三〇万円を積立金とし残りを翌年度繰越しました。土地改良施設財産処分関係では、水資源公団補償収入が一〇八〇万円、旧世継揚水機場用地売却六八九万円、前年度繰越と雑収入等、収入合計四三三九万円、支出では旧施設撤去工事費二四四一万円、倉庫建築費五八二万円、記念碑建設費七六万円で翌年度繰越一三三九万円となりました。残存旧施設の撤去費に充当します。

平成元年五月末現在の借入

持管理費一九一八万円のうち電力費九七五万円、人件費五二八万円(職員二名分とポンプ管理費)があります。また基幹施設維持管理積立金繰出金九四四万円を特別会計へ繰出しました。諸費一三六六万円は賦課金徴収手数料として各大字の関係者へ支払ったものです。

## 特別会計

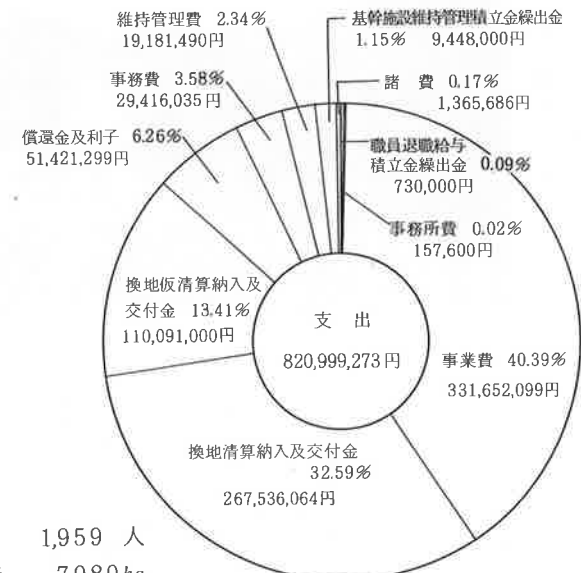
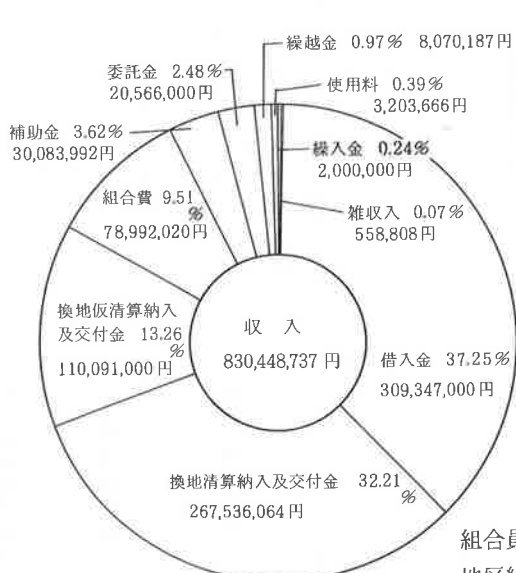
平成元年五月末現在の借入

持管理費一九一八万円のうち電力費九七五万円、人件費五二八万円(職員二名分とポンプ管理費)があります。また基幹施設維持管理積立金繰出金九四四万円を特別会計へ繰出しました。諸費一三六六万円は賦課金徴収手数料として各大字の関係者へ支払ったものです。

持管理費一九一八万円のうち電力費九七五万円、人件費五二八万円(職員二名分とポンプ管理費)があります。また基幹施設維持管理積立金繰出金九四四万円を特別会計へ繰出しました。諸費一三六六万円は賦課金徴収手数料として各大字の関係者へ支払ったものです。

持管理費一九一八万円のうち電力費九七五万円、人件費五二八万円(職員二名分とポンプ管理費)があります。また基幹施設維持管理積立金繰出金九四四万円を特別会計へ繰出しました。諸費一三六六万円は賦課金徴収手数料として各大字の関係者へ支払ったものです。

持管理費一九一八万円のうち電力費九七五万円、人件費五二八万円(職員二名分とポンプ管理費)があります。また基幹施設維持管理積立金繰出金九四四万円を特別会計へ繰出しました。諸費一三六六万円は賦課金徴収手数料として各大字の関係者へ支払ったものです。



組合員数 1,959 人  
 地区総面積 798.9 ha  
 かん排地区 738.3 "  
 ほ場整備地区 467.4 "



### 2年度管送水区域各分水工範囲図

(ほ場整備地区内)



### 大型ポンプ1台増設 700ミリ四月試運転

揚水機場最後の据付となつた七〇〇ミリ大型ポンプが十二月到着、一月から据付作業に入ります。

今年配水区域がほ場整備区域だけで約八四ヘクタール増加し、給水能力がやゝ不足を懸念されるため最後のポンプ



ンプ1台増設の陳情をくり返した結果、二年度と合わせて一億一千万円の予算で工事に入り、四月試運転となりました。

### 電気代節約のため

### 節水を

お願い!!

契約電力も当然大巾に大き

1. 代かきは浅水で、濁り水は流さない。
2. 田植時の水は落さない。
3. 管理期のかげ流しをしない。
4. 余り水は排水路へ落さず、田越しかんがいに協力する。
5. 尻みとから水もれのないようしっかり管理する。

くなりません。かけ流しで排水路が溢れることのないよう、くめて下さい。

### きれいなびわ湖を守る 循環かんがい工事实施

毎年、代かき時の排水が天の川、新川水系からびわ湖へ流入し、水質や漁業等への悪影響が懸念されるため、このたび世継地先の排水路末端付近で、転倒ゲートでせき止め北へ向って濁水を横引きし、ポンプ場吸水槽へ導水するという画期的な工事を実施することになりました。これに合わせて世継区内を東西に流れる新川の改修、町道の新設を同時に施工されます。昨年から地先関係者との話し合いを続けてきましたが、御了解を頂き着工の運びとなりました。

農業排水でびわこを汚さないという、反復利用のための投資ですが、これでもう安心というのではなく、一人一人が濁水を流さないという自覚が必要です。昨年来、排水者個人の責任を問えという声が強くなってきました。濁水を出さないための工夫と自覚を特にお願します。

工事は中岡組が三月二十日工期で実施します。期間中周辺の皆様に大変ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

# 平成二年度事業要望 史上最高 19億6千万円

平成二年度事業計画がまとまり、改良区歴史上最高額の一九億六千万円の事業費を要望することになりました。県管かん排・ほ場整備事業計画の予算措置について、国、県へ両町当局と共に一体となって陳情を行い、円滑な事業推進の努力を続けています。

関係地区皆さんの一丸となった御支援を切に願っています。(金額は事業費)

- 1 県管かんがい排水事業 五億八三〇〇万円
  - (1)揚水設備一式(元年継続)
  - (2)北幹線水路工事四〇〇〇m
- 長沢工区
  - (3)中央幹線水路工事 一七八〇m能登瀬工区
  - (4)南幹線水路工事 一七三〇m寺倉岩脇工区
- 2 県管ほ場整備事業
  - (1)西部地区 三七一〇万円
    - 。道路舗装工事五〇〇m
    - 長沢・世継地先
  - 。換地処分 一式
  - 長沢・世継工区
- (2)西部南地区

- 一億六六〇〇万円
  - 。地下道取付道工事及びJR委託工事 飯工区
  - 。道路舗装工事 九〇〇m
  - 上多良・飯地先
  - 。換地費 一式
  - 上多良工区

- (3)東部地区
  - 七億一〇二〇万円
    - 。区画整理 二九・五ha
    - 能登瀬工区残り全部
    - 多和田工区県道北側
    - 。暗きよ排水
    - 新庄・箕浦・顔工区
    - 。換地費
    - 新・箕・顔工区及高・顔工区確定測量
- (4)東部南地区
  - 四億六六〇〇万円
    - 。区画整理 二八・九ha
    - 。寺倉工区 一八・七ha
    - 。西円寺工区一〇・二ha

以上各地区とも測量設計、換地費、補償費を含みます。各事業の資金は 国費 一〇億〇九〇六万円 県費 五億三六一三万円 (以上補助金)

地元負担金四億一七九二万円 (全額農林漁業資金借入れ)

## 確定測量 四工区で実施中

ほ場整備事業の締めくくり

となる処分登記を行うための各筆ごとの確定測量を、上多良、飯、世継、長沢の四工区で実施しています。上多良、飯の六八・九ヘクタールは(株)上智測量が、世継、長沢

一三一・二ヘクタールは(株)新明測量設計がそれぞれ担当し明年度処分登記実施へ向け作業が進んでいます。 工期 三月五日 工費 一四五〇万円

## 相手の心を思いやる やさしい心を!

毎日の暮らしや、仕事の中で人が人として大切にされていない問題に出会ったら、誰でもが、気軽にその問題について、自由に対等に語りあいましよう。そうすることも、学習であり、「差別の現実から深く学び」みんなの人権を守りあう社会づくりへの第一歩をふみだす、実践になるからです。 「いつでも、どこでも、誰とでも」、解放県民センター(発行誌より)

## 宇賀野工区ほか2工区

### 『換地処分終る』

朝妻工区一三五、九〇〇円 筑摩工区一三七、八四八円

当管内で先頭を切って、ほ場整備事業に着手した宇賀野、朝妻、筑摩工区では換地処分が終り登記書類が各地権者に渡りました。朝妻・筑摩工区については反当事業費が確定し、一括繰上げ償還希望者には、その取扱いが可能となりました。

(注、繰上償還希望者には毎年償還額を計算しますが、将来の経済情勢を予測することは困難のため奨励はいたしません。)

元年度一括償還額(一〇a



天の川提防より  
能登瀬工区を望む

## 編集後記

正月に雪降る年は豊の年とか、平成二年も平和で豊かな年でありますように。

東部地区の事業が最盛期となり、本年は十九億円という高額な資本を投じて、地域住民の生活や福祉にも重要な役割をはたす地域の資産づくりの一端を担うことになりました。両町の活性化のために大きく寄与することを願うものです。

昨年は泥水排水に悩まされました。土やせる泥水を止める根本対策は、一人一人の厳しい泥水を落さない自覚しかありません。個人の責任を問え、と強い意見もあり次第にその方向へ動きつつあります。びわ湖を守るやさしい気持ち。を忘れないでほしいのです。不農何食(農がなければ生きていけない)の気概で、長寿を喜ぶことのできる社会を目指して、思いやりのある心を持って、我田引水もやさしい心で今年も頑張りましょう。願わくは、水豊かで、あばれ午の来ないことを。